

夢と希望に満ちた 活力ある明るいまちづくり

再選を果たした吉原市長が、4月18日、市議会議員や支援者、職員など300人が出迎えるなか初登庁。引き続き行われた職員を前にしたあいさつで、これからの4年間は圏央道の開通や新庁舎の建設、企業誘致の推進など、坂東市は大きな変化のときを迎える。職員それぞれの立場で、どうすべきかをしっかりと考えて欲しい、と訓示しました。



▶多くの市民の皆さんなどが出迎えるなか2期目の初登庁をする吉原市長



ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



夢と希望に満ちた
活力ある明るいまちづくりを
推進します

このたび市民の皆さまをはじめ各方面から力強いご支援と温かいご厚情を賜り、引き続き市政を担うこととなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これからの4年、坂東市を取り巻く環境が大きく変わります。この変化のときを、坂東市発展の好機とするため、粉骨砕身努力してまいりますので市民の皆さまの変わらぬご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

まず、圏央道の開通が期

待されます。これに合わせインターチェンジ周辺の工業団地の整備や企業誘致による雇用の創出を推進していきます。また、東京直結鉄道の茨城県延伸に向けた取り組みも正念場を迎えており、はつきりとした位置づけがされるよう、近隣市町村と協力しつつ積極的な運動を進めていきます。

市役所新庁舎の建設は3年後の開庁を目的に推進しています。効率的で市民の皆さんに親しまれることはもちろんのこと、機能の集約化にともない不便が発生しないよう、猿島庁舎の総合窓口としての機能も進めていきます。

子育て支援や教育・福祉の充実、農・商・工の活性化など、各種施策に私のモットーである「責任ある政治」の理念のもと、市政をさらに前進をさせ、次代を担う子どもたちが夢と希望に満ちた活力ある明るいまちづくりに、全力を傾注してまいります。